

令和6年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3

No.129 森田浜保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) わらべうたあそびを通して情緒の安定を図り、歌・リズム・表現や友達とかかわる楽しさを伝える。	(1) ◎	
		(2) 行事の後に自己評価や保護者アンケートを実施し、その結果を踏まえて改善していく。	(2) ○	
		(3) 保育カウンセラー訪問を実施し、ケース会議を通して子どもの発達状況や特性を理解することで保育の質の向上を図る。	(3) ○	クラス担任以外もケース会議に参加することで、子どもの特性を理解し関わり方を共有することができた。
		(4) 感染症の発生状況・対応に関する情報を収集し、予防策を講じ、様々な感染症の拡大防止に努める。	(4) ○	
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研究指定園として、わらべうたあそびの理論や実践について園内研修を通して学び、実践を通し深めていく。	(5) ◎	実践型の研修を多くしたことで、職員が楽しみながら学び、保育に取り入れることができた。
		(6) 園長連絡会後には報告を行い、全職員に周知徹底し、共通理解を図る。	(6) ◎	園長会報告を聞くとともに、レジュメを回覧することで職員全体で共通理解することができた。
		(7) 研修案内の情報提供を行い、研修意欲を高め、職員が積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ◎	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 保護者の悩みや不安、困り感等に連絡帳や送迎時の対話等で情報交換や助言を行い、家庭支援を行う。	(8) ◎	保護者の悩みは園長とも共有し、適宜懇談をするなどした。
		(9) 園だよりや活動記録などで園の様子を伝え、家庭と一緒に子どもの育ちを支えていく。	(9) ◎	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時、内容等の情報提供を行い、園開放を通して地域の子育て家庭の相談を受ける。	(10) ◎	読み聞かせやわらべうたあそびなど園開放の内容を工夫し、話しやすい雰囲気の中相談に乗ることができた。
		(11) 一時預かり保育の受け入れを実施し、地域子育ての支援を行う。	(11) △	一時預かりの希望がなかったが、希望があった時には受け入れられる体制を整えている。
		(12) 園見学や園開放時に育児相談及び援助の実施を行う。	(12) ◎	参加者の育児相談に丁寧に対応できるようにした。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を發揮します	(13) こども家庭センターや各専門機関と連携を図り、情報を共有していく。	(13) ◎	必要に応じ連携を図ることができた。
		(14) 地区の子育て支援に関する連絡協議会等の参加及び情報共有を行う。	(14) ○	
		(15) 就学先の小学校に保育所児童保育要録を送付するとともに就学に向けての連携会議、移行支援を行う。	(15) ◎	園小連携会議や移行支援会議などに参加し、就学に向けて連携をすすめることができた。
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業を把握し、必要に応じて情報提供を行う。	(16) ○	一時保育や病児保育を行う事業所の紹介をした。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の保育園、公民館と連携を取り、保育機能の強化を図る。	(17) ◎	森田地区文化祭に園児の作品を出品し、地区のデイサービス訪問では地域高齢者と交流を行った。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域高齢者と野菜や花壇作りをし、園児と地域の人たちとの、ふれあいの場を持つ。	(18) ◎	地域高齢者と一緒に野菜の苗植えや花壇作りをし、手遊びやわらべうたなどで交流することができた。
		(19) 自治会、公民館等の行事参加や、会議に参加し、園への理解を深めてもらう。	(19) ○	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 実習生や中学生ボランティアを受け入れ、子育てへの関心を高める。	(20) ◎	養成校の保育実習生のほかにも、中学生の職場体験学習や保育園訪問などを受け入れた。
V 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(21) 森田駅ギャラリーに園児の作品を展示したり、地域のイベントに参加したりし、園への理解を深めてもらう。	(21) ○	森田駅ギャラリーに作品を展示したことで、地域の方から感謝の電話をいただき園への理解につながった。
		(22) 児童に関する権利条約や個人情報保護法の遵守、運営規定、重要事項説明書についての共通理解に努める。	(22) ○	職員間で読み合わせをすることで共通理解に努めた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23) 保育研究合同発表で、一年間の園での研究を発表する。	(23) ◎	発表に向けて今年度の研究の成果や課題を職員間で話し合い、まとめることができた。
		(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案作成と実施及び評価を行う。	(24) ○	

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。